

学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」
一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」

とひの かふち



《学校だより》 第2号

令和3年4月26日発行
湯河原町立湯河原小学校
校長 北村和裕

今年度がスタートして、2週間が過ぎました。21日(水)に授業参観を行い、子ども達が教室や体育館で活動する姿をご覧いただきました。保護者の方に観ていただいたからか、どのクラスもいつも以上に張り切って学習をしていたように思います。また、その後は体育館でPTA総会を行いました。昨年度は、書面総会でしたので、お会いすることもできませんでしたが、今回は顔を合わせての総会の実施でした。報告・協議の後、職員の紹介の時間もとっていただき、和やかな雰囲気では進んでいきました。PTAの役員・委員の皆様1年間よろしくお願いします。



人権講話 世界に1つだけの花

湯河原町教育委員会では、4月を『湯河原町人権教育月間』に設定しています。4月15日のテレビ朝会では人権に関わる話をしました。「世界に1つだけの花」の歌詞を引用しながら、次のような内容でした。

この歌は花の歌ですが、皆さんにも当てはまります。皆さんも世界にひとりだけの人です。世界に一人だけしかいないのです。なぜならば、一人ひとり違うからです。普段声の大きい人、小さい声の人、賑やかな人、物静かな人、運動が得意な人、苦手な人それぞれ違います。でも、みんな違ってみんないいのです。みんな違うからこそ、世界に一人しかいない特別な人です。

先週、運動場で50メートル走をやっている学年が多かったです。足の速い子も走るのが得意な子もいれば苦手な子もいます。でも、どの子もゴールに向かって一生懸命に走っていました。速い、遅いではなく、最後まで自分なりに頑張ることが大切です。また、走っている人に「がんばれ」と周りの人が応援していました。頑張っている人に対して応援する、認めることもとても大切です。

それぞれのクラスで、一人ひとりが一生懸命に頑張ること、そして、頑張っている人を精一杯応援すること、そんなことが自然にできるといいですね。きっと素敵なクラスになります。そんなクラスがたくさんできれば素敵な学校になります。ぜひ、みんなで頑張り、応援し合える素敵な学校にしていましょ。

そうさ 僕らは
世界に一つだけの花
一人ひとり違う種を持つ
その花を咲かせることだけに
一生懸命になればいい



心がほかほかになる出来事

一緒に行ってあげて

ある朝、校門のところに立っていると、道路の反対側に黄色い帽子を被った1年生が2人いました。どうやら道路を横断してしまひそうです。慌てて「道路は渡らずに歩道橋を渡って」と言いました。私のそばにいた6年生の女の子が瞬間的に「一緒に行ってあげて」とその1年生から少し離れた6年生の男の子2人に伝えました。6年の男の子はすぐに状況を察し、1年生を歩道橋まで連れて行って一緒に階段を上りました。3人の6年生の見事な連携プレーでした。



ブログ観ています

これも、登校時の出来事です。ある朝、1年生を送ってきた保護者の方がこんな話をしてくれました。「1年生になって学校の話をしてくれます。今日は給食でスープを飲んだのですが、どんなスープなのかはわかりませんでした。でも、ブログを見たらすぐにわかりました。あ〜コンソメのスープだったんだ。今度、家でも作ってみようと思ったんです。ブログはとてもわかりやすくていいですね。大変でしょうけれど、またお願いします。」この話を毎日のように献立をブログに載せている小川栄養士にしました。その顔には、満面の笑みがこぼれていました。